



J-MICC Study静岡地区の進捗状況

日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study) は、生活習慣や遺伝的体質とがんなどの生活習慣病との関係を調べるため、2005年にスタートしました。その後、多くの皆様にご協力をいただき、日本で最大規模の分子疫学コホート研究に成長しました。J-MICC連合を含めた全国の研究協力者数は、2013年6月までに9万5千人を超えています。

このうち静岡地区では、2006年から2007年にかけて聖隷予防検診センターの人間ドックを受診された方々に、研究参加をお願いいたしました。現在、5,016人の方々に研究にご参加いただいています。2008年以降、研究参加者の皆様には、生活習慣病（がん、心臓病、脳卒中）にかかれたかどうかを調べるための「健康状態のおたずね」への回答を、年1回お願いしております。

さらに、研究参加時（第一次調査）からの皆様の生活習慣や身体状態の変化を調べる目的で、2012年1月から12月までにドックを受診された静岡地区参加者を対象に、第二次調査を実施いたしました。おかげさまで、2,300名を超える方々に調査へのご協力をいただくことができました。皆様の温かいご支援に、関係者一同深く感謝しております。

上記期間に聖隷予防検診センターの人間ドックを受診されなかった方々には、郵送による第二次調査参加のお声がけをしております。第一次調査に2006年に参加された方には2013年1月末に、2007年に参加された方には2013年5月に、お願いの手紙とともに調査票をお送りさせていただきました。今後、研究成果の発信によりいっそう努力してまいります。ご支援の程よろしくお願いいたします。

研究レポート「骨密度に関係する遺伝子の型」

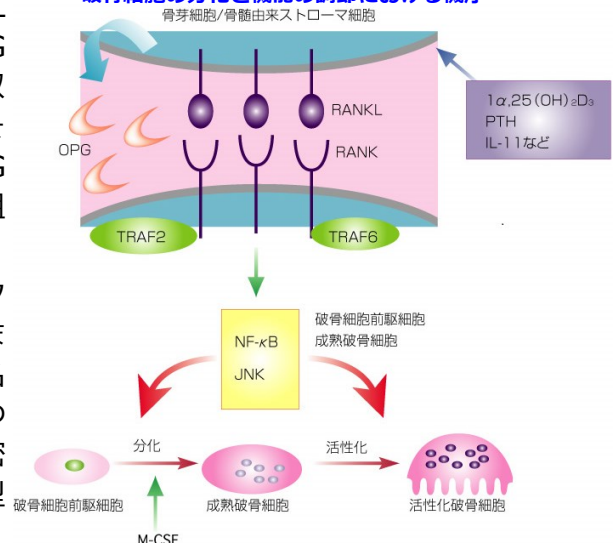
中高年女性において、オステオプロテゲリン(OPG)遺伝子多型と骨密度の関連が認められた

RANK (receptor activator of NF- κ B)、RANKL (receptor activator of NF- κ B Ligand)、OPG (osteoprotegerin) は、破骨細胞の分化・生育と骨吸収の制御にかかわるサイトカインです。この三者およびそれらの関係が、骨の吸収に大きく影響しています。OPGは主に骨芽細胞から産生される骨吸収抑制因子で、骨粗鬆症などを標的にした創薬分野でも注目されています。

今回、J-MICC研究静岡地区のベースライン調査データを用いて、OPG遺伝子多型と骨密度との関連を検討しました。骨粗鬆症薬服用者を除く、35～69歳の男女478名を解析対象としました。OPG遺伝子多型のG/G型を持つ女性は、A/A型あるいはA/G型を持つ女性と較べて、骨密度が有意に上昇していました。男性は、OPG遺伝子多型間に有意な差が認められませんでした。

さらに、閉経の有無で分けた女性のための解析で、閉経後のグループではG/G型の女性に有意に高い骨密度が認められました。閉経前のグループでも同様の傾向が示されましたが、その関連は弱まっていました。閉経後女性において、両者のより強い関連が認められたことから、高齢女性の骨粗鬆症予防に向けた、さらなる検討が必要と考えられました。

破骨細胞の分化と機能の調節における機序*



*参考文献：高橋直之. 骨粗鬆症治療 2002;1:2-3.

J-MICC Study各地区の進捗状況（参加者数は2013年3月時点）

こちらでは、現在までのJ-MICC Study各地区の進捗状況をご報告します。

研究機関名（参加者数）	進捗状況
千葉県がんセンター（7,798名）	印西市、我孫子市、柏市の住民を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
静岡県立大学（3,016名）	静岡県内の人間ドック受診者および企業健診受診者を対象に、JA静岡厚生連の健康管理センターでベースライン調査実施中。
愛知県がんセンター（9,256名）	愛知県がんセンター受診者を対象に、ベースライン調査実施。第二次調査および追跡調査実施中。
名古屋市立大学（7,584名）	岡崎市医師会公衆衛生センターの人間ドック受診者を対象に追跡調査実施中。
名古屋大学・静岡地区（5,016名）	聖隷予防検診センターの人間ドック受診者を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査と追跡調査実施中。
名古屋大学・大幸地区（5,168名）	名古屋市の住民を対象にベースライン調査を実施。現在、追跡調査実施中。
滋賀医科大学（4,124名）	高島市の住民を対象に、ベースライン調査、第二次調査、追跡調査実施中。
京都府立医科大学（6,025名）	京都市内の人間ドック受診者および地域住民、京都府内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査と追跡調査実施中。
徳島大学（2,453名）	徳島県総合健診センターの人間ドック受診者および徳島県内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査と追跡調査実施中。
佐賀大学（12,068名）	佐賀市の住民を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
鹿児島大学（7,860名）	5島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）と本土3市で地域住民を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査、追跡調査を実施中。

事務局からのお知らせ



J-MICC Study 静岡地区・第二次調査にかかわる主要スタッフです。
どうぞよろしくお願いいたします。

研究に関する問い合わせ先：

- ◆名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2132（平日9:30～16:30）
FAX 052-744-2971
- ◆聖隷予防検診センター 健診看護課 担当：桑原
〒433-8558 浜松市北区三方原町3453-1
TEL 053-439-1115（平日9:00～16:30）

これまでに、静岡地区の皆様より得られましたデータから学術論文24編、学会発表54テーマを発表させていただくことができました（2013年3月現在）。本研究にご参加いただいている皆様に感謝いたしますとともに、今後も引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。